

令和7年度 一関市立一関中学校 職員働き方改革アクションプラン

～ 支え合い 呼びかけ合いでつくる働き方改革 ～

一関中学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【教職員の勤務状況】

- ① 月45時間以上の残業者数 (10人) ② 月80時間以上の残業者 (1人)
- ③ 在校等時刻が午後8時を超えたのべ教職員数 (38人)
- ④ 所属教職員の月平均残業時間を報告 (45時間)

【働き方改革を進めるうえでの課題】

- ・校務支援システムを中心とした業務に必要となるシステムの操作や技術の早期習得
- ・様々な調査・報告へ対応するための分業・助け合い意識
- ・業務のスリム化

2 目 標 ・ 目 指 す 姿

【R7年度目標】

- ・午後8時を超える超勤者を限りなく0へ
- 最終退勤時刻目標
教職員はできるだけ残業を減らし、学校ごとに最終退勤時刻の目標(遅くとも19時59分)を設定し取り組みます。
- 学校における業務改善の推進目標
業務のスリム化・効率化を図るための積極的意見を尊重し実行する
- 教職員のワークライフバランスを意識した働き方改革の推進目標
業務分業の発想と助け合い精神を大事にした残業ゼロ達成

3 目標・目指す姿を達成していくための具体的取組内容

○教職員の健康管理	○学校における業務改善の推進	○学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進
<ul style="list-style-type: none">・限りなく残業ゼロを目指す。・年次の計画的取得の推進。・互いに声を掛け合い、助け合いの精神を持って生活する。	<ul style="list-style-type: none">・校長、副校長が中心となり、様々な分掌のバランスや業務の推進状況を見ながら、その都度入る取り組みや調査や報告等を出来る限り分業させ、一人の職員に負担がかからないように配慮する。	<ul style="list-style-type: none">・学期末反省の時間等を利用しながら、現在行っている業務が適切かを検討し、効率化・適正化を図れるものについては適宜検討していく。